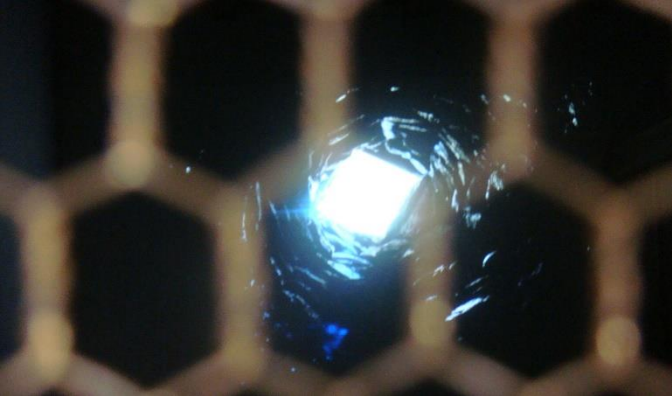




奈良町にぎわい通信

Vol.17

二〇一六・白露〜秋分

発行
奈良町
にぎわいの家





奈良町にぎわいの家 8月のイベントから



夏休み子ども町家講座「町家子ども探検隊」

～町家でみつけるぼくのわたしのお気に入り～

二十四節気では立秋の8月11日、座敷に爽やかな風が流れるなか、子どもたちが沢山やってきました。保育園児から5年生まで集まり、子どもや保護者、スタッフまでもカチコチに緊張して挨拶と紹介からはじまりました。ところが、座敷でゴロゴロ畳の感触を確かめると、どこからともなく「へんな匂い～」「寝たい～」とか、楽しい囁きが聞こえてきました。蔵の扉を閉め切り真っ暗にすると「わぁ～」とみんな大きな声を出したり、家の中からはお外が良く見えるのに外からは中が見えにくい格子の不思議を体験すると、内と外から大声で声を掛け合ったり、手をふったり。向いの物語館では、箱階段で厨子二階に上がり頭を打ち、井戸では釣瓶で水を汲み上げ「冷たぁ～い！」とじゃぶじゃぶ。「神様の匂いがする」という子もいたようです。にぎわいの家に戻り、現代では珍しい蚊帳に入って飛び跳ねたあと、竈に火を入れ、替わりばんこに竹筒で「ふうふう」。きらきらと汗と瞳を輝やかせていました。最後に物語館の井戸で冷やしておいたペットボトルのお茶を飲みながら、スタッフ手づくりのふりかえりシートでおさらい。

この子達は住まいのことを少し考えてくれるかな。町家を受け継いでくれるかな。私たちはこんな期待を元氣とともにもらいました。みんな、来てくれてありがとうね。

子ども町家講座講師チーム…吉田昌・何左昌範(ならまちづくりセンター)

渡邊有佳子(なら町家研究会)

格子に張りつき覗き込む



箱階段を全身で
よじ登る



蚊帳に入って
跳んだり寝転がったり



カマドの火おこし体験

冷たい井戸水に
歓声をあげる



東アジア文化都市2016奈良市

9月03日(土)～10月23日(日)

～ならまちアートプロジェクト～
にぎわいの家も開催中！

奈良町にぎわいの家・二十四節気企画
オリジナル短歌&書&マークをお楽しみください。



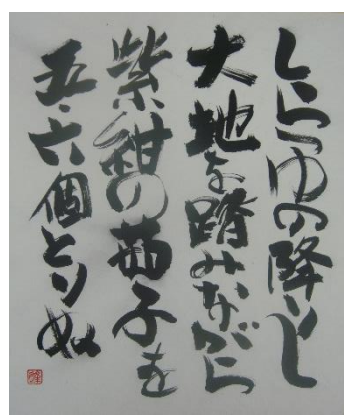
短歌
喜多隆子(歌人)
書
逢香(書家)
節気マークデザイン
金田あおい(藍寧舎)



「白露」

しらつゆの降りし大地を踏みながら
紫紺の茄子を五、六個とりぬ

朝の冷えた空気、露が降りた大地。潤いのある大地に、良い色の茄子が実り、それを収穫しました。しらつゆの「白」、大地の土の色、茄子の「紫紺」。きりつとした白い空気の中に茄子の色が鮮やかにたちます。季節の匂い実りの感触と、初秋の朝の空気感に満ちた、清々しいお歌です。



芸術の秋、奈良では春日大社他、八社寺と奈良町エリアで現代アートが町を彩ります。社寺では、世界的なアーティストが、奈良町では国内の気鋭のアーティストが作品を展示中です。当館では、岡田一郎氏、林和音氏の二人の美術家が「FLOW」(流れ)をテーマに、作品を展開、館内のいろんな場所でご覧いただけます。岡田さんは、奈良町在住の作家で、ご自身も町家にお住まいです。つし2階、蔵、井戸で、主に映像を中心とした作品を。林さんは、通り庭、座敷、離れで「編む」作品を。ぜひ、この機会をお見逃しなく！(今月の表紙はお二人の作品から構成しました。)

事務局だより

2016
秋分号

事務局長 藤野正文

9月、二十四節気では処暑が過ぎ、白露、秋分。今年も暑かったねと足元にふと見つけた蟬の死骸に声をかけたり、鈴虫の音が懐かしくあり、コオロギの音が聞こえ始める季節。昔の江戸では夕方から虫の音を楽しむのにむしろを携えて出かけたとか。この季節、皆さんも虫の音に耳を傾け、月見を楽しんだ記憶は必ずありますね。

今年の中秋の名月（十五夜）は九月十五日、秋晴れで空が澄み、月が美しく見えるはず。小さなころ兄弟ともども祖母に連れられて、少し小高い山際にある神社に団子・お菓子をもらって月見に。街灯はなく月の光で色彩のない濃淡だけの田んぼの夜道は不思議な異次元の世界。月を見て団子を食べただけの思い出けれど、そのときのゆったりとした時間の流れは忘れることの出来ない記憶の世界です。

9月から奈良町にぎわいの家も参画して、奈良町を舞台に現代アート展「ならまちアートプロジェクト」が始まっています。ならまちの各所で作家さんが作品を展示されています。現代アートはよくわからない？なんだろう？といった何を意味しているの？作家さんがその場で何を感じ、作品で何を表現しているのか、何を伝えたいのかを少し会場

でたらずんて感じ取っていただければと思います。作品そのものが持つチカラもあります。町中で芸術作品が散歩をしながら見られるというのはスゴイ豊かな世界ではないかとも思います。もったいない。マラソン感覚で作品を見る観光客の多い時間帯はさけて、ほんの少し美術評論家？になった気分、会場でゆったり時間を過ごしてください。また、自宅の食卓の場や井戸端会議や飲み屋かなんかで、あれは見たか？あの建物はなんだ？あの作品は面白い？あれはどういう意味があるのか？など少しクリエイティブな気分が芸術談義・雑談する機会ってそうないことと思います。そんな談義が町々に広がっていけば、奈良町ももっと楽しく、面白いまちになっていくように思います。折角の機会です、奈良町にお住まいの方が「ならまちアートプロジェクト」の会場を是非ひと巡りして、感じたことを周りに発信してみてください。

♥にぎわいスタッフ活躍中！

其の一 体験茶会でおもてなし



着物姿も涼やかに。



小学生の作品、
かわいいですね。



中国からの
お客様の絵手紙



8/23に絵手紙に心得のあるスタッフのアドバイスを受けながら、皆さんに体験いただきました。中国からのお客様も奈良訪問の記念にと。それぞれのタッチで味わいのある作品が。

其の二 絵手紙体験と一緒に



8/5に当館スタッフによる「体験茶会」を開催。お点前を披露してから、実際に自分で点てていただきました。暑い日でしたが、沢山の方が体験、楽しんでいただきました。

奈良町にぎわい通信vol.17

制作...奈良町にぎわいの家管理共同体
発行人...二十軒起夫
編集・構成...おの・こまち
表紙デザイン・レイアウト...福田昭一
撮影...奈良町にぎわいの家スタッフ

奈良町にぎわいの家 9:00~17:00 水曜日・休館
〒630-8333 奈良市中新屋町5 TEL 0742-20-1917

nigiwainoie@gmail.com

<http://naramachi-nigiwainoie.jp/>

イベント、講座情報は、ホームページ、フェイスブックからご覧になれます。
是非、ご参加ください。

奈良町にぎわいの家二十四節気マークから



白露 9/7~
朝夕涼しく

九月の節気



秋分 9/22~
彼岸・月も美し

各地での台風被害により、野菜が高騰とのこと。自然を相手の農家の皆さんのご苦勞を思います。食欲の秋、実りを祝う季節がやってきます。